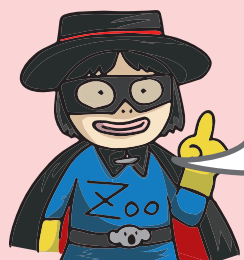


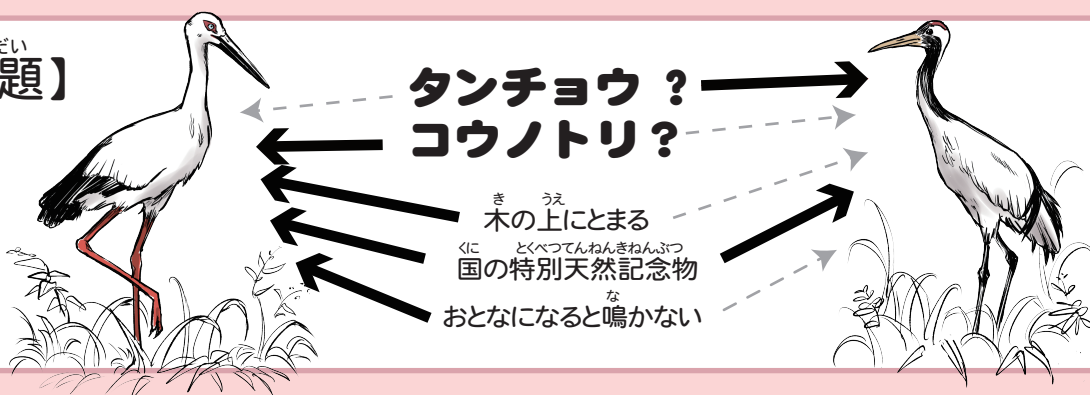
くらべてみようそっくりさん



かいけつゾー

ちがう種類^{しゅるい}だけど、見た目^{めい}がよく似^にている動物^{どうぶつ}がいるね。どっちがどっちかわかるかな？ 実際^{じっさい}に観察^{かんさつ}したり看板^{かんばん}をみて、やじるし^{ただ}を正しいほうへなぞってみよう！
※うらの地図^{ちず}を見て、動物^{どうぶつ}を探^{さが}してみよう。

【例題】



①



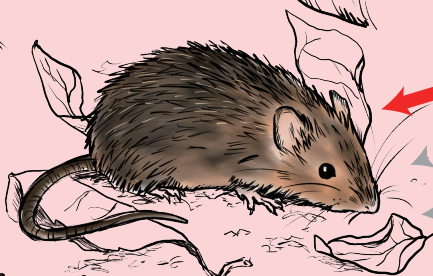
ホンシュウモモンガ？
チビフクロモモンガ？

②



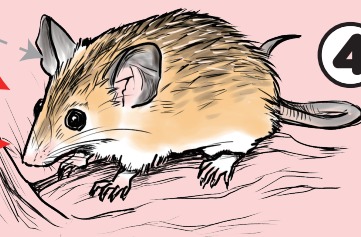
げし類^{るい}
木^きから木^きへと滑空^{かつくう}する
ブラシのような舌先^{したさき}で蜜^{みつ}をなめる

③



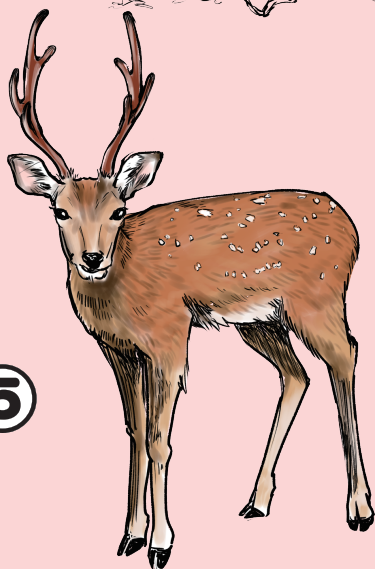
アマミトゲネズミ？
カイロトゲマウス？

④



せなか しょう け からだ ねつ
背中^{せなか}のトゲ状^{しょう}の毛^けは体^{からだ}の熱^{ねつ}をにがす
てんてき
天敵^{てんてき}はハブ(ヘビのなかま)
む
群^むれでくらす

⑤



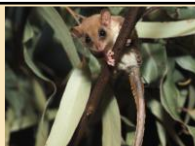
ニホンカモシカ？
ホンシュウジカ？

⑥



ぐうていもく か
偶蹄目^{ぐうていもく} ウシ 科^か
メスには角^{つの}がない
む
群^むれでくらすことがおおい

くらべてみようそっくりさん

	① チビフクロモモンガ		② ホンシュウモモンガ	
ぶんるい 分類	ゆうたいるい 有袋類(カンガルーのなかま) ふくろ こそだ おなかの袋で子育てするよ		し るい げっ歯類(ネズミのなかま)	
にているところ	まえ うし あいだ ひまく ひろ かづう 前あしと後ろあしの間にある皮膜を広げて滑空する			
た 食べもの	むし はな みつ じゅえき したさき 虫のほか、花の蜜や樹液をブラシのような舌先でなめる		き は き かわ き み むし 木の葉、木の皮、木の実やくだもの、虫など	

	③ アマミゲネズミ		④ カイロゲマウス	
ぶんるい 分類	し るい げっ歯類(ネズミのなかま)			
にているところ	せなかぜんたい しょう け は 背中全体にとげ状の毛が生えている カイロゲマウスのとげ状の毛は体の熱を逃がす役割があります。 アマミゲネズミのとげの役割はまだわかっていません。			
せいかつ 生活	どう こうどう おとなになると1頭で行動		かぞく む 家族(群れ)でくらす	

	⑤ ホンシュウジカ		⑥ ニホンカモシカ	
ぶんるい 分類	ぐうていもく か 偶蹄目 シカ科（シカのなかま）		ぐうていもく か 偶蹄目 ウシ科（ウシのなかま）	
にているところ	にほん ぐうていもく わ 日本にすんでいる偶蹄目（ひづめが2つに分かれている）			
み め せいかつ 見た目・生活	つの まいとし ・角があるのはオスのみで、毎年はえかわる ・メスは群れで、オスはオス同士が1頭で生活する		つの ・角はオス・メスどちらにもある ・繁殖期以外は1頭で生活する	



とお ばしょ しんか どうぶつ かんきょう
遠くはなれた場所で進化してきた動物が、おなじような環境でくらしていると
に とくちよう しゅうれん しんか
似た特徴をもつことがあるよ。これを、「収斂進化」というんだ。
とくちよう ぶんるい
おなじ特徴をもつけれど、まったくちがう分類のいきものをさがしてみよう!